

相生デイサービス新聞

発行所
相生DS
44-4165

花ほころぶ野辺に遊ぶ

しだ水梅、水んぎよう、雪柳、木蓮、
山吹、つつじ、かいどう...
ようやく寒さも遠いたようです。

うらうらかな
こんな日は、
「さあ」
いっしょに。

名歌
ひさかた
久方の光のどけき
春の日にしづ心なく
花のちるらむ
紀友則



耕(たがやし)



リンゴの花

ご存知ですか
塩



調味料以外にも活用法が。
。ガラス、陶器製の食器を
ピカピカに。
(指やスポンジで磨く)
。消臭・殺菌作用あり。

郷土のまつり

日光 弥生祭
13(土)~17(水)



日光二荒山神社~市街地

今月の予定

- 4(木) 傾聴ボランティア
 - 8(月) つるがいカラオケ愛好会
 - 15(月) 習字
 - 18(木) 傾聴ボランティア
 - 19(金) ささこいポパイ
 - 22(月) 音楽(小林様)
- ※花見ドライブ
おたのしみ



自然の恵みいただきます。

昭和の名車
(問1)



旅情

コトコト走る
菜の花列車



いすみ鉄道

ユーモアくらぶ
「いざ」という時の為に
貯金は大事ですが、
あなたはどうして貯金
をしていないのですか」
「どうしてって、私のところ
はいつもいざとい
う時なんです。」

問2

4月8日は「花祭」
だれの生まれた日？

問3

- 蒲公英 ()
- 螢鳥賊 ()
- 穀雨 ()

天声珍語

山笑う季節
だというのに、
心はずまぬ。
三月の別れが、
影を落として
いるのだ。
体調はゆるやか
な下降線をた
どっている。

コノサカヅキヲ
受けテクレ
ドウゾナミナミ
ツガシテオクレ
花ニアラシノ
タトヘモアルソ
「サヨナラ」
ダケガ人生ダ
この詩のように
人生とは
別れの積重ね
なのかも知れ
ない。
今日はいつも
より飲みそら
な気が...
ススム
詩は千野(長安)
訳は井伏鱒二